

シニア講師塾（集合塾）の

**【感想文を、整理して まとめました】**

- 2012年の9月から始まったシニア講師塾は、「集合塾」を2012年3月9日・10日に名古屋駅前の「ウインクあいち」で、開催しました。参加者42名。  
北海道（五十嵐知美さん）から沖縄（田港華子さん）まで、そして海外からは5名参加されてにぎやかでした。ニューヨークからはMCHAの吉里彰二さんが、中国からは上海の小田 譲さんと、大連の謝 世晶さんが参加。台湾からは馬岡孝行さんと、歐 元韻さんが参加され国際色豊かな 集合塾になりました。

「集合塾」の2日間だけが、シニア講師塾ではありません。

前年の9月から始まって、3月11日以降現在もシニア塾は続いているのです。シニア塾の卒業は各自ご決定ください。・・・ということです。

日常的に、シニア塾生として、競力と協力をしながら「互恵学習」をつづけて欲しいというのが、糸藤の願いです。「日常シニア塾」が肝心です。

その「互恵学習」は「集合塾」への参加者だけでなく、メーリングリストで共有化しました資料や諸情報を活用しながら、会員全員が互恵学習として、大きな輪で参加していただけるよう希望・期待しています。

そういう意味で、メーリングリストで公開・共有化しました「集合塾」の参加感想文を、ここに、再度投稿順に並べて整理しましたので、折に触れて、読み返して 参考情報として今後の学習へ活かしていただければ幸いです。

2013年1月16日 糸藤正士記

2012/03/09~10 名古屋で開催

## 「シニア講師塾（集合塾）」の参加者の感想

会員メーリングリストへの投稿メール48通を転載（投稿順）

### （1）吉里彰二さん （投稿日3月10日）

会員のみなさま 今回、シニア講師塾に参加しました、293 吉里です。

先ほど神奈川の自宅に名古屋から戻りました。

ニューヨークからの参加でしたが、本当に来てよかったと実感しています。

ニューヨークでの真・報連相普及にあたって感じていることは、3つの視点は完璧に受け入れられる、3つの深度はほどほど、レベル表は受け入れられずというものです。私の大好きな59項目のレベル表が、まるで躰を押し付けられているようだという反発に合い、どのように今後展開していったらよいか正直迷っていました。

中間報告はとても大事と信じていたのですが、それを部長に求めたところ、「私の仕事を信じてもらっていない」と課長にこぼしていたと聞きました。今回、中国からの参加者から、「中国では中間報告はない」と聞きました。アメリカと一緒に。

糸藤さんは、日本だから通用するが、海外では通用しないものもあるということを知って、真・報連相を研修するようにとお話されました。レベル表はいくらでも加工して使って欲しい。新しい物を加えるのもOK、3レベルに変更するのもOK。あくまで素材なので自由に使って欲しいと。

また、3つの深度は海外ではせいぜい2度までが限界ではないか。consensus はないけど、同意 agree ならできると。

ニューヨークに赴任したときは、日本で学んだ真・報連相を丸ごと移入しようと思っていました。しかし今、3つの視点を主に展開しようと思います。場合によっては Real HORENSO という単語も捨ててもいいかもと思っています。その心が伝わればいい、そして、質の高い仕事の取り進めが行われればいい。でも名前はせめて Quality Work 位にはしたい。

明日の飛行機でニューヨークに戻ります。あまり形式にはとらわれずに、最終目的である質の高い仕事の進め方をめざし、アメリカに合った形で真・報連相を広めていきたいと思っています。

糸藤さん、そして塾に参加して貴重な意見を下さったみなさまに感謝です。 吉里

~~~~~

(2) 湯浅忠雄さん (投稿日 3月10日) / 一般会員から (1) と関連

吉里さま 報連相センター・アジア支部長の湯浅です。  
海外での報連相を展開する難しさ、お気持ちはお察しいたします。

私は、ずっと報連相は報連相(日本語)で通しています。部下指導も、ずっと部下指導(日本語)で、通しています。  
改善も5Sも、これらのキーワードは、日本語で通しています。

研修自体は英語で進めますが、これらキーワードは変えません。  
その意味する所の解釈から始めないと、真の理解につながらないからです。

ただ、現地の人にわかってもらえるよう、進め方は変えてはいます。  
それぞれの文化はリスペクトしつつ、伝えるべき事は伝えるための工夫です。

このスタイルで10年以上やっております。  
否定する人もいますが、賛同してくれる人は、その倍ぐらい、います。

トヨタ自動車も、ソニーも、皆、文化の壁にぶつかり、乗り越えてきました。  
私も、日々格闘ですが、10年以上経って、ようやく距離が近づいてきた気がします。

どうか、あきらめず、頑張ってください。  
帰路、どうかお気をつけて。 湯浅 シンガポールより

~~~~~

(3) 歐 元韻さん (投稿日 3月10日)

糸藤さん シニア塾の皆様  
N0327の歐元韻です。二日間、お疲れ様でした。  
以下3点の感想を発表させていただきます。

1. 今回の研修を通じて私が得られた真報連相の新しいキーワードは「関心」です。  
いかに「関心」の気持ちを起こさせるのは、よい仕事の進め方に大きく影響すると

実感しました。

## 2. 台湾にあう素材及び進め方について

「権限委譲した際の中間報告の重要性」を例としてあげますと、「報告」という言葉を強調せず、「楽しくお仕事をやる為」の「情報共有」であるように、もっていったほうが台湾の人が受け入れやすいと感じました。

## 3. アサーションを活用しながら、よい人間関係を築き、

質の高いお仕事の進め方に繋がりますよう自分も実践していくこと。

皆さん、有難うございました。 また、お目にかかれることを楽しみにしています。

~~~~~

## (4) 藤井えつこ さん (投稿日3月11日)

糸藤様 シニア講師塾 参加の皆様

大阪の藤井えつこです。お疲れ様でした、そしてどうもありがとうございました。  
真・報連相に 高い 「関心」 をもった方々と2日間ご一緒して、  
たくさんの気づきをいただきました。やっぱり、体感しないとわかりませんね。  
以下、感想を3つ報告します。

### 1. 「関心」を持つことが大事

たとえば、自分の報連相がいいのか悪いのかを考えて、改善しようと思う人は「関心」を持っている。

一方、改善なんてことが頭にない人は 「関心を」持っていない。

「関心」というキーワード、すたとんと腑に落ちました。

気づきのきっかけとなるためには 「関心」を持ってもらうことが大切。

レクチャーは聞いたら忘れるが、「関心」の強さと持続は、創造へつながる。

自分の問題だと気付く「関心」をどう仕掛けるか、これからの課題です。

### 2. 「ニーズ」と「ウォント」の違い

職場の皆さんに「質の高い仕事をやり方」を実感して働きがいを  
見つけてもらいたい。 そのために真・報連相を広めたい！

3. アサーティブな表現を身につければ、よりよい人間関係ができる。

自分も相手も尊重して、誠実に率直に対等に。

職場環境が変化してきている中で、適切なコミュニケーションをとるには  
私自身、この訓練が欠かせないなと思いました。

今回は、今までになくグローバルに真・報連相を考える機会でもあり、  
ワクワクした本当に充実した時間でした。皆さまどうもありがとうございました。

~~~~~

(5) 長谷真子さん (投稿日 3月11日) / 一般会員から (4) と関連

藤井えつこさま。 シニア塾にご参加のみなさま。 みなさま。

長谷真子@心の報連相大好き！NO. 95

経営者と社員さんが幸せになるコーチです。

シニア塾には参加できなかったですが、貴重なシェアをありがとうございます。

- > レクチャーは聞いたら忘れるが、「関心」の強さと持続は、創造へつながる。
- > 自分の問題だと気付く「関心」をどう仕掛けるか、これからの課題です。

★「関心」を持つ。

関心ですね。目玉や耳がギュギュっと集まる！

そうっか。関心に焦点を当ててるんですね。凄い～！！

- > 自分も相手も尊重して、誠実に率直に対等に。
- > 職場環境が変化してきている中で、適切なコミュニケーションをとる

★自分にも相手にも誠実で。きちんと適切なコミュニケーションをとる。

これぞ、「報連相の王道」でしょうか。 真・報連相と言われる所以。

想像するだけでゾクゾクします。 脳みその端から端まで、痺れるような会。

シェアを ありがとうございます。

~~~~~

(6) 延堂良実さん (投稿日 3月11日)

日本報連相センターの皆さま いつもありがとうございます。  
大阪の延堂です。

先日のシニア講師塾は、本当に学びの多い2日間となりました。  
真・報連相に出逢ってもうすぐで7年になりますが、人生にたくさんの恩恵を  
頂いていたのだと、あらためて感じました。私はあくまでいちユーザーとしての  
思いで、今回のシニア講師塾に参加しました。

塾を受講し、糸藤さんの仰る言葉の裏側に在る心の温かさや志を受けて感じる  
共感や、連想する過去の思い出を噛み締めながら、真・報連相は私にとって  
「人生の生き方そのもの」になっていたのだと気付かされました。

社会人になるとほぼ同時に真・報連相と出逢い、バイブルのようにいつも片  
手に持って歩いてきたつもりではありましたが、まだまだ私自身、学びも実践  
も基礎基本が成っていないと、この塾で学びました。

1つ1つ、今後も守破離の守を徹底します。

私は講師としての活動はほとんど行っていませんが、部下や仲間に真・報連  
相のエッセンスを伝える立場としては通じるものが多いと感じています。

伝える相手の多少にかかわらず、伝える立場の人間として、「誰よりもまず  
己が真・報連相の実践者であれ」という気持ちで歩みます。

糸藤さん、皆さん、心よりありがとうございました。抽象的な表現の感想になり、  
申し訳ありませんが、シニア講師塾の感想とさせていただきます。  
以上、感謝と敬愛を込めて。

~~~~~  
(7) 宮田 元 さん (投稿日 3月11日)

糸藤様そして運営にかかわった皆様

さらに様々な情報をご提供くださったご参加の皆様ほんとうにありがとうございました。

また、名古屋までお越しになりながら体調不良のためご欠席の西山さまには、心よりお見舞い申し上げます。今回の参加で私が頂いたヒントを

① やはり、「関心」ということです。このキーワードは私自身とても関心を持ちました。まだうまく真報連相のキーワードとして誰かに説明できませんが、もう少し私なりに考えてみたいと思った次第です

② 今回の私の参加目的として、私が関与しているお客様にいかんにか仕事の進め方を上手にお伝えできるか、を模索しており、そのヒントになるのではないかと思ったのが、たとえば価値観の異なる異文化の方々や若年者の方々へのマネジメントはどうしているのかでした。皆様から貴重なご意見をいただき、私なりの真報連相の伝え方を考えてみたいと思っております。

③ そして、やはり一番の感想は楽しく、充実した時間を共有できたことです。これも、私の参加目的にありましたが、しっかり真報連相浴ができました。以上、どうもありがとうございました。

~~~~~  
(8) 五十嵐知美さん (投稿日 3月11日)

シニア講師塾に参加の皆様へ

マイクを持つと緊張してしまい、声が上ずってしまう五十嵐知美です。

2日間いろいろな国の方々、いろんな所で講師としてご活躍されている方や企業で真・報連相を広めるためにご活躍されている方と学ぶ機会をいただき、ありがとうございました。この2日間は、あっという間に過ぎ、想像以上の刺激や学びを頂戴しました。以下、2点感想(学び)を報告いたします。

まず、今後私が真・報連相として力を入れて行きたいことは、レベル表の説明に対して、私自身の経験やクライアント企業にあった事例を豊富に揃えることです。

ハンドブック等を書いてある事例も素晴らしいのですが、今まで、受講者の方たちがなかなかピンとこなかったり、こちらが想定をしていたような納得感を得られていないような感じをもったことがありました。クライアント企業にあった事例を豊富にする必要性を感じました。

もう一つは、これまで実習で悪いい報連相・悪い報連相の事例発表やDVDを使って事例研究をしたりして、その場が活気づいた後に、5段階のレベル表を配布した途端、受講生の意識が職場の現実課題から、レベル表へ意識が移り、現実課題から意識がどんどん離れ、項目を理解することに集中してしまい、本来の目的である自己（職場）の報連相の改善から意識が遠ざかっていまいることが見受けられました。

これを改善する方法として、実際の職場でのいい報連相や悪い報連相の事例、実際の仕事の進め方の事例分析から、それがうまくいった要因又はうまくいかなかった要因はこのレベル表から見るとどこに関係があるのか、というようなやり方で進めてみようと思います。

研修の中で発表させていただいたクレーム対応を使ってお話をすると、報告の4度の『上司に対してだけでなく、部下（後輩）、同僚、各関係部署への報告も抜かりなく行っている』の具体事例では、以下のようになります。

**【具体事例】**

「クレームが発生しました。

直ちに、上司に報告しました。

お客様にお詫びをすると同時に、そのお客様から電話や訪問の際に、どの社員が対応しても、今回のクレームへのお詫びの対応するように報告（連絡）しました。」

**【その解説】**

「クレームが発生しました。

直ちに上司に報告しました。」



⇒連絡の5度『悪い情報ほど、早く連絡している』

報告の5度『正直に報告している』

ができていますね。

「お客様にお詫びをすると同時に、そのお客様から電話や訪問の際に、  
どの社員が対応しても、今回のクレームへのお詫びの対応するように  
報告（連絡）しました。」

⇒報告の3度『目的を明確にして報連相している』

相談の5度『情報の共有化を深める組織作りに取り組んでいる』が  
できていますね、 など。

レベル表をもう少し確認すると関連する項目は、まだあるかもしれませんが  
以下省略です・・・。

少々長くなりましたが、あえて具体的に説明させていただきました。  
今後もさらに現場対応力を高めて、努力していきたいと思っておりますので  
よろしくお願い致します。

~~~~~

(9) 波多野勝則さん (投稿日 3月11日)

NHC会員の皆さま

いつも大変お世話になっております、本報連相センターの波多野勝則です。

3月9日・10日の「シニア講師塾（集合塾）」に参加させていただきました。

・自分自身の気付きとヒントの整理のために、そして、ご事情により、参加  
できなかった会員の皆さまと、少しでも情報を共有化するためにという2つの  
目的で、以下に、参加報告をさせていただきます。

やや長文になりますが、お読みいただければ、幸いです。

●私が、シニア講師塾に参加した「自己目的」は、次のようなものでした。

『質の高い研修をするために必要な講師のあり方・やり方を学びながら、  
自分のあり様を振り返ることにより、  
今後の仕事と人生の両方をより良いものにしていくためのヒントを得る。』

糸藤さん、そして、参加者の皆さまのおかげで、当初の目的を達成する

ことができました。疲れましたが、今、とても爽やかな気持ちです。

●今回の集合塾を通じて私が得たヒントを、以下に、三つ、共有化させていただきます。

- ① 『関心』の「強さ」と「持続」は、創造へつながる。(シニア塾テキストより抜粋)  
集合塾の中で、糸藤さんが、次のような話をされました。

「.....。  
私は、『?』と思うと、先に行かないで、そこに立ち止まり、  
ず〜っと考え“続ける”性格なのです。  
そして、ず〜っと考え続けていたら、色々なもの、例えば、  
『3つの視点』や『3つの深度』が見えてきたのです。  
.....。』

自分のオリジナルを生み出す(創造する)ためには、  
強い関心を持つこと、そして、持ち続けることが大切なのだ、ということ、  
頭と心の両方で感じることができました。

この体験は、仕事だけでなく、私の今後の人生万般に生かせることであり、  
また、生かしたいと思います。

例えば、真・報連相研修の講師としては、

- ・ まず、自分自身の関心事(WANTS)に関心を持つこと
- ・ そして、相手の関心事(WANTS)に関心を持ち(理解する努力をすること)
- ・ さらに、自分の関心事を相手に知らせること(相手に関心を寄せてくださる  
ように、理解をより深めてくださるよう、こちらからできることを行うこと)

の三つに“関心を持ち続ける”ことが、  
良い人間関係を構築する上で、そして、質の高い仕事をする上で、とても大切である  
ことを、「レクチャー力」×「ファシリテーション力」×「コメント力」の  
3つの相乗効果によって参加者の皆さんに感じてもらえるような、そんな研修が  
できる講師を目指して、研鑽を“続けて”いきたいと思っています。

- ② 「真・報連相研修」の目的を、一般的に言えば、  
『質の高い仕事の進め方』を追求し続ける(個人と)組織づくり」

これは、テキストの一つである

「真・報連相研修の進め方について、私（糸藤さん）が考えていること」  
の6ページに書かれている文章です。  
ここにも、「続ける」が入っています。

日々、一つひとつの仕事を、その時に考えた「質の高い仕事の進め方で“する”」だけでなく、より上質なものを目指して「質の高い仕事の進め方を“追求し続ける”」ことが大事なのだ。そして、「“追求し続ける”のために、『仕事の進め方の“振り返り”の“継続”』が必要不可欠なのだ」という意味に、解釈しました。

旧報連相が、どちらかという、短期的な成果を志向しているのに対し、  
長期的に、大きな成果が生み出されるように「土壌改革する」という、  
（以前からハンドブックに書かれている）「真・報連相」の「位置づけ」を考えますと、  
この「追求し続ける」という表現は、すごく腑に落ちました。

今後は、これを意識して、仕事をしていきたいと思います。

- ③ 「異質・異能の皆さんと、心を開いて、交流することは、  
「心技体 全てに とても良い影響を与える」ことを、実感しました。

集合塾の前夜から、2日目の研修、懇親会、終了後の相談まで、  
多くの皆さんと交流をさせていただくことができました。  
参加する前と比べて、自分の心身がより良い状態になっていると、感じます。

- ・安心、安全な環境
- ・FACE TO FACE、双方向、全員参加のコミュニケーション環境
- ・自然に内省が促され気づきの機会がある環境

これらの環境があると、人は、落ち込まずに、笑顔で、  
自己の改善・レベルアップに役立つヒントを、自分でつかもうとする。  
「研修講師は、このような環境づくりの設計者である」と見ることもでき  
ると思いました。

★私たち、NHCの仲間が、協力し、知恵を出し合うことで、MLでの情報共有や、  
勉強会、研究会、全国大会、等々を、（今回のシニア講師塾のように）一人では  
できない、より創造的で楽しいものにしていければと願っています。

皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

長文、お読みいただき、ありがとうございました。 2012.3.11 波多野勝則

~~~~~

(10) 高野 繁さん (投稿日 3月11日)

浜松の高野 (No. 149) です。

3月9日(金)、10日(土)の二日間研修に参加してきました。

未だに熱気というよりは、深い気づきの中から何か新しい行動を生み出す発見をした思いです。

海外からの参加者も含めお会いした皆様から多方面の視点をいただき、日頃もやもやとしていたものが見えてきた気がしました。私の参加の目的は、

1. 報連相が”できている、出来ていない”新しい自分の発見
2. 他の方の自分とは“違った視点”での気づきを感じたい
3. 糸藤講師が”出来る人の仕事の仕方を観察しようとおもった動機を知りたい

私が手に入れた成果は(私の表現で分かりにくいと思いますが・・・)

新しいキーワード「関心」で、一気に報連相がのびやかになった

1. レクチャー力\*ファシリテーション力\*コメント力の中で特に”コメント力”の難しさに気がついた
2. 基本に戻ることの重要性和研修の緊張感の大切さを身にしみて感じた

”情報を解釈するのは自己である”ことの学びでもありました。

糸藤様、皆様、海外からご参加くださった方々、本当にありがとうございました。

追伸 糸藤様、PPT お願いいたします。

~~~~~

(11) 谷口 洋 さん (投稿日 3月11日) / 糸藤宛のメールをメーリングリストへ転送

日本報連相センター糸藤正士様

今回のシニア塾は真報連相の真髓に振れた思いがいたしました。

以下、参加の感想を申し述べます。

今回のシニア塾参加の自己目的は下記の通りでした。 < /SPAN>

1. 真報連相の真髓を体系的に学びたい
2. シニア塾参加者との交流を深めたい
3. 真報連相コーチングをグレードアップしたい

1. 真報連相の真髓を体系的に学びたい。

まさに真髓に触れた思いがいたしました。とりわけ「関心」については痺れました。私は「問題意識」というかねてより言葉を使用していましたがまったく思想的には同じ考えです。これからは「関心」という言葉を使用してゆきたいと思います。また、ファシリテーションではアンサーを出さずに受講生に考えさせるというのもコーチングそのものです。考えさせる質問をどのように作るか周到な準備のもとに研修計画を策定して臨まなければならないことを改めていたしました。

さらに、演習では個人演習、グループ演習、クラス討議を通じて多くの気づきをいただきました。奥の深い内容であったと思います。また、セミナー全体を通じて、を惜しげもなく提供していただきましたことにも深謝申し上げます。

2. シニア塾参加者との交流を深めたい。

旧知の方が多くいたこともありとても気持ちよく受講できました。同じ道を志す人々との語らひはこんなに楽しいものかと思いました。まさに至福との時を実感いたしました。今後、真報連相を展開するうえでの多くのヒントと勇気づけをいただきました。改めて深甚の感謝を申し上げます。

3. 真報連相コーチングをグレードアップしたい。

糸藤さんの話にありました。今日の真報連相になるまで20年かかっているとのことでした。この20年間の糸藤さんの経験と多くの関係者の英知の結集によりこのように優れた真報連相ができたのだと思います。わたくしの真報連相コーチングはまだ2年しかたない赤ん坊ですが多くの人の知恵を頂戴しながらより実務的で実社会で役立つグレードアップしてゆきたいと思えます。

この面でも、多くのヒントをいただきました。真報連相コーチングに関心を持って臨みましたので私しか得られなかった多くの収穫を今後恩返しをしたいと思えます。

末筆ですが、シニア塾の研修に献身的で万端の準備をなされた糸藤改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後の研讃のためにシニア講師塾のPPTをどうかよろしくお願い申し上げます。

~~~~~  
(12) 諸橋隆夫さん (投稿日3月11日)

シニア講師塾に参加の皆様 NHC会員の皆様

3月9、10日の二日間のシニア講師塾に参加させていただきました諸橋です。  
糸藤さんの「熱き思い」を会場の雰囲気と共に肌を感じ興奮した、あっと  
いう間の二日間でした。・・・糸藤先生有難うございました。

参加前に頂きました「研修の進め方～私が考えていること～」を新幹線の  
中で読み、自分の大きな課題が明確になりました。

研修のスキルアップ等と抽象的に表現していた課題が、3つの力（レクチャー、  
ファシリテーション、コメント）だと鮮明化できました。

・・・もっと早く61Pの濃密な指南書を読むべきと…後悔！。

そこで、研修での気づき（反省と明確な課題）と成果をシェア—させていただきます。

1) 改めて、研修の進め方の基本の重要性を、今回の研修で糸藤さんから  
実践的に学びました。…手段としての研修は終われば消える。

だから、受講生が内省思考となる仕組みを考え準備する。

今回も、自己紹介の中で「自己目的」、「関心」が盛り込まれていました。

2) 手段である研修の質を高めるファシリテーション力

受講者の心に落とし込む術（=職人術）の重要さ&影響の大きさを実体験

しました。質問・投げかけ・関連情報の活用・自分目的のワーク・等々

“講師は受講生を考えさせるための役者”の実演に圧倒され、どうしたら  
一歩でも近づく事が出来るか…！！？？（課題は大きくなるばかりです）

3) 研修での成果

\*参加された皆様から、真・報連相研修実施への勇気と力を頂くことが

できました。「思い」を実現された方のお話しをお聞きし、「本気」に  
なることが全てだと！。

事前準備（=事前額数）～終了後の依頼項目（会員相互の共有）まで、

これでもか…というほど、糸藤さんの研修への思いと沢山のスキルを頂く  
ことができました。消化不良を懸念しつつ、「関心」を意識し、自分マニュアル  
製作で、真・報連相の理解を深めて行きたいと思います。

皆様、有難うございました。

~~~~~

(13) 林ひな子さん (投稿日 3月11日)

糸藤様 皆様

大阪から出席しました林ひな子と申します。以下感想を述べたいと思います。

①「関心」というキーワードについて

実は次の②③について関心を持っており、少しでも行動することが「関心」のその先の  
自分の人生の仕事が加速されていくことを体感しました。

②「グローバルな視点での文化や仕事の仕方を知りたい」

真・報連相＝質の高い仕事の進め方 は広く世界でどのような文化的背景で考えられて  
いるのかを知り、それを踏まえて世界で仕事をしてみたいと考えて苦手な英語力を少し  
ずつ克服してきました。今回は、多様に満ちた国々から参加された方の話で真・報連相  
＝質の高い仕事の進め方とその環境に触れることができ感動的でした。

③真・報連相が企業でどのような位置づけで研修に組み込まれているのかという素朴な  
疑問を持っていました。

私はこの真・報連相のレベル表に書かれていること一つ一つは、コンピテンシーに近い  
ものを報告・連絡・相談といった切り口でとらえたものではないかとも考えているので  
すが、研修の仕方をインストラクター講座などで経験はしたものの、実際の研修の体系  
の中でどういった部分に入れたら効果的なのか「関心」を持っておりました。

ですから、三菱化学（株）様の話は、とても参考になりました。

以上、有意義な2日間をありがとうございました。

今後ともよろしく願います。

~~~~~  
(14) 朝比奈広志さん (投稿日3月11日)

糸藤様 シニア講師塾に参加された皆さま 278 朝比奈です。

昨年9月にご案内をいただいてからあっという間に6カ月が経過してシニア塾に参加させていただきました。

糸藤様 とても気づきの多い学習機会を与えてくださりありがとうございました。

皆さま お目にかかる度に刺激を与えていただきまた二日間一緒に学習できたこと感謝おります。

多くのことを感じましたが、感想を3点述べさせていただきます。

1. まず振り返ってみて、糸藤さんが「考え方」にも書かれていらっしやいますが、研修会で今現実に起きていること、人・物・発言すべの中から学習の種を拾ってコメントされていることが実感できました。読んでいただけでは読み飛ばしてしまいそうですが、体感できました。
2. アサーティブなコミュニケーションの大切さをあらためて痛感しました。言いたいことを言うのではなく、「本当に伝えたいことを伝える」ことの意味が理解できました。実践は難しいことですが、これを通して良いホウレンソウ、良い人間関係を作っていくこと。研修講師という前に自分自身の生き方の指針です。
3. 「関心」という新たなキーワードをいただき、考えかたが深まりそうだと感じています。関心のシートを見直して、あらためて「自分がやりたいと思ったことへの関心を強化・持続して、いつか何かを創造できるようになりたい。」と夢を持たせていただきました。

多くのことを学ばせていただき本当にありがとうございました。

今回のPPTをいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

田中さま

お陰様で2日間とも理想的な環境で研修を受講できました。

ありがとうございました。

朝比奈広志



~~~~~  
(15) 天野勉さん (投稿日 3月11日)

シニア講師塾に参加の皆様 NHC会員の皆様

こんにちは。 今回のシニア塾に大阪より参加しました天野勉です。

多くの先輩方と一緒に学ばせて頂きましたが、みんな「年齢」や「経験」をまったく抜きにして、同じ塾生として交わってくださり、とても嬉しかったです。2日間の感想をまとめるのはかなり難しかったです。感想は以下の3点です。

### 1. 「関心」の強さと、持続は、創造へつながる

元々、「関心」という言葉はとても好きな言葉でした。

阪口さんがご紹介されていた小山社長の言葉は知りませんでしたが、マザーテレサの「愛の反対は、憎しみではなく無関心」という言葉がとても好きでした。

関心の持続が創造へ繋がる。糸藤さんが「仕事の進め方」に関心を持ち続け、真報連相の創造に至った。このプロセスは衝撃でした。関心の「持続」、これを肝に銘じ、行動していきます。

### 2. 増田さんの「若者についての発言」より

中国やアメリカとの文化の違いが話題ku 棹C 覆訝纒如n・弔気鵠・崙韻呼鏡椰佑任△辰討蓋禺圓斑矜眷・硫礎祐儂琉磴い・△襦廚箒い・・実亡意図の発言されました（メモしていないので正確ではないです）。

管理者研修など昭和世代への研修の場合、相手は「最近の若者」なのですが、逆に新入社員研修等では、相手は「昭和の人」になります。

報告2度の「上司の考え」という部分には、価値観や関心ごととも入ります。若い世代には、昭和の人の価値観、関心ごとという「相手の視点」を意識した報連相が必要だと思います。

人生の2/3以上を平成で過ごしている若年層NHC会員として、より質の高い成果を上げる組織作りのため、昭和と平成をつなぐ真報連相を目指します。

### 3. アサーションについて

アサーティブジャパンの講師の話は、短時間ながら吸収することが多かったです。

また、糸藤さんが2日間のアサーティブジャパンの講習に参加されていたということも衝撃でした。ハンドブックの数ページにわたって解説のあるアサーションについての理解が深まったとともに個人の生き方としてw)「昧世襪海箸・燭て晴討任靴拭・・錫鮠真報連相に関連が深いこと

として、今後も関心を持っていきたいと思えます。

以上です。

今後も多くの方々と互恵の関係で、ますます真報連相が発展していくことに関わっていきたいと思えますのでどうぞよろしく願い致します。糸藤さん、PPT資料は絶対に欲しいので、宜しく願い致します。

田中さん、シニア塾のバックアップ、どうもありがとうございました。

~~~~~

(16) 三宅佳子さん (投稿日3月11日)

糸藤さん・皆様へ お世話になっております。

3月9日の1日だけでしたが、シニア塾に参加させて頂きました。

9日は後ろ髪を引かれながら、泣く泣く新幹線に飛び乗った次第です・・・。

2日間の長丁場、糸藤さん、本当にお疲れ様でございました。

そしてありがとうございました。

たった1日の参加でしたが得たものは多く、又お目にかかった方々

とのさりげない会話もすべて、私の宝物となっています。

☆☆☆☆☆☆

今回の研修での気づき3つです。

①「真・報連相」に関しては、まだ1年ほどと経験は浅いのですが、

昨年は大阪社労士塾で学ばせて頂いたお蔭で、糸藤さんや皆様の発言が、

すと〜んと腑に落ちた感がいたします。

従来の仕事をしつつも、いつも頭の片隅に「真・報連相」を意識している

自分がいます。まさに、私にとって「関心事」だったのでしょう。

~~~~

20年の歳月をかけて、報連相を体系化されて、さらに「真・報連相」

へと進化。私はすっかり完成形だと把握していましたところ、

まだまだ「芯がない！」とのお考えで、その芯になり得るキーワードが、

「関心」。「雑踏の中でも自己の関心ある言葉だけが耳に入る」

(カクテルパーティー効果)

人が自発的に「報連相」を行う以前の領域に目を向けた言葉が「関心」

だったのです。

「言葉」の意味や力を探求し、厳選して提示くださる姿勢には  
誠に深く感心いたしました・・・。

②午後は、アサーティブジャパンから牛島先生がお越しく下さいました。  
1時間半ほどの短い時間でしたが、こちらもケーススタディー  
(はまちゃん寸劇)等を取り入れ非常に楽しく有意義な内容となっております。  
アサーティブに関しては、事前に書籍を読んで臨んでいた為  
さらに理解が深まりましたが、多分このままほおっておいたら  
またいつものネッチー(攻撃性を隠して相手をコントロールするタイプ)  
に戻りそうですので、是非トレーニングを受けてみたいと思います。  
(ちなみに糸藤さんも昨年末受講されたようです)

～～～

講義内容もさることながら、私が一番素晴らしい!と感じたのは  
質問に対する牛島先生の対応でした。どんな質問にも一旦受容されてから、  
アサーティブに対応してらっしゃいました。  
報連相のレベル表各項目とも深く関るアサーティブは、どのような場面でも  
活躍するものと思います。

③シニア塾に参加することを自ら選択した皆様方。  
それぞれ目的は異なる部分もございますが、どなたとお話していても  
『共感』を得たり、『良い感化』を与えて頂いたり、  
本当に楽しかった!  
最近年齢も重ね「心が喜ぶことを選ぼう!」と考えておりましたが、  
まさに、シニア塾はそれでした。  
ともすれば、目先の仕事に追われ、なかなか新しいことに取り組む  
決意が薄れてしまうことも多かったです・・・。  
振り返ればこの6ヶ月間、シニア塾参加を目標に、かなりの時間を費やす  
ことが出来ました。

～～～

糸藤さん・皆様、本当にありがとうございました。  
又お会いできる日を楽しみにしております♪ 三宅 佳子(大阪)

~~~~~

(17) 紺野諭さん (投稿日3月11日)

糸藤様 そして皆様

いつもお世話になっております。東京の紺野です。3月9日、10日のシニア講師塾に参加いたしました。学びと感動の2日間になりました。

昨年、糸藤さんからのメールで、今回「一度だけの開催」になると思います、とありましたので、3月9日、10日には他のすべてのスケジュールは外して、参加する決心をしました。

また、「糸藤の持っている情報と情熱をすべて出します」とのことで、大きな期待をいたしました。2日間は、まさに糸藤ワールド全開でした。

ここで、基本に戻ることの重要さとキーワード「関心」が心に残ります。私自身の「自己目的」2つは、糸藤さんと参加者の皆様のお陰で達成することが出来ました。これからの私の人生と講師としての活動に大いに役立つと感じています。糸藤さん、皆様有難うございました。尚、「PP要」です。よろしくお願いします。

~~~~~

(18) 濱田智司さん (投稿日3月11日)

糸藤さま そして みなさま

まいどお世話になっております。

No.131 和歌山支部、紀の州コンサルティングの濱田でございます。

糸藤さま、一昨日・昨日と、濃密でとても気付きが深い研修をありがとうございました。糸藤さまのお心が、私たち受講生に伝わってきた、いわゆる講師と受講生が一体になった研修(塾)であったと今更ながら感じております。

また、「『真・報連相研修の進め方について私が考えていること』については、絶対に読み込んでおくこと」と事前にお話されていた理由を、

本自身を持って痛感した次第です。

◆今回、シニア講師塾を受講されておられない会員のみなさま◆  
上記、『真・報連相研修の進め方について私が考えていること』に  
ついては、是非、熟読をお願いします。きっと、大きな自己の変化に気付くと思います。

今回、私がシニア講師塾に参加した目的のひとつは、  
【おそらく得られるであろう気付きをどのように実践できるかを  
今回は検討すること】としておりました。  
それを、実際、今日のセミナーで体験した次第です。

◆本日のセミナー◆（注：濱ちゃんが塾の直後3月11日に実施されたセミナーです／糸藤）

#### 1. 研修概要

ある介護施設の理念浸透研修

（施設運営を始めて10年、新たに事業所理念を作り、それを  
職員に自分のものとして浸透させる研修）

#### 2. 日時

- 全2回（1回目：3月3日、そして2回目：3月11日（今日））  
全職員をふたつのグループに分け実施。
- 時間は、午後一杯（4時間）

#### 3. 1回目の研修と2回目の研修との違い

1回目は、糸藤さんの真・報連相研修のすすめ方についてを  
読んでおらず、また一昨日・昨日の研修も受講していなかった。  
2回目は、「同すすめ方」を読み込み、一昨日・昨日のシニア塾を  
受講していた。

自分自身、最初のうちは、普通に研修の講師を行って  
いたのですが、なにやら途中から、雰囲気が違うことに気付きました。  
受講生の入り方が、前回（1回目）に比べ、かなり良いのです。

同じレジュメで、進行もある程度同じなのに、「どこが違うの？」  
と、自分で半信半疑に進めていくうちに、思い当たりました。

それは・・・以下、3点です。

■◆■

1 点目 :

各テーブルでのグループワークでの関与の仕方に  
質問することで、考えてもらえるように仕向けられたこと  
【すすめ方 P24 参照のこと】

～難しい理念の内容について、前後の文脈とどう関係しているのか  
具体的にはどうということが考えられるのか、すぐに出来そうか  
そうでないのか、など、受講生の方に考えてもらえる質問ができたこと

2 点目 :

「自分の影響下にある受講者」について、考える機会が  
もてたということ。少し自分の講義風景を客観的に見ることができたこと  
【すすめ方 P12 参照のこと】

～自分の言葉で、相手が反応することを改めて認識したので、  
「自分が受講者だったら」と考える機会がもてたこと

3 点目 :

内省思考について、「明日から自分がどう変わるか」といった  
きっかけを作るお話をすることができたこと  
【すすめ方 P32 参照のこと】

～自分が明日から今日話したことをどう実践していくのか  
今日得た“気付き”を、明日からどのように仕事に活かして  
いくのか。また、それをするのも、しないのも自分次第  
(依存人間ではダメ) だということを繰り返しお話できたこと  
でした。

■◆■

もちろん、研修終了時に反省点も自身で、感じることとなりました。

「ああ、糸藤さんのように、もっとあのとき、『ではこれについては  
どう思いますか?』と、受講生に振ったほうが良かったかなあ」  
などです。

(シニア講師塾では、私は、コンテンツに自身が没頭するよりも  
糸藤さんのすすめ方にとても関心を持って受講していました)

このように、「すすめ方」 & 「シニア講師塾」を経験することによって、  
同じ研修でも、講師によるすすめ方がこんなに変化してしまうことを  
身を持って痛感しました。

改めまして、

糸藤さま！ 今回、糸藤さまの主催されたシニア講師塾。

私にとり、何よりもかけがえのない無形の財産を伝授していただいたものと  
確信しております。

実際に、今日を含め、これからの講義・研修の場で、講師として  
役立てて、そしてより高いレベルでの講義をすることで  
糸藤さまへの恩返しにいたしたいと、強く思っています。長文失礼いたしました。

以上、興奮冷めやらぬ、シニア講師塾、受講後の初研修実施レポートならびに  
糸藤様への心からのお礼のメールをいたします。

~~~~~

(19) 中富正好さん (投稿日3月11日)

NHC会員のみなさん。こんばんは 中富@関西支部です。

3月9日・10日シニア講師塾「集合塾」へ参加しました。

参加しての感想です。とても長文です。お許してください。

中富の自己目的は、3つでした。

- ①真・報連相だらけの2日間を過ごす。
- ②真・報連相の本質を問う。感じる。
- ③真・報連相の学び方を学ぶ。

.....

- ①真・報連相だらけの2日間を過ごす。

まさに、その通りの2日間。いいえ！前夜祭もしましたので3日間となりました。

真・報連相を存分に楽しめた「3日間」。そして「半年間」でした。

ありがとうございました。

.....

②真・報連相の本質を問う。感じる。

③真・報連相の学び方を学ぶ。

深い穴を掘るには、大きな穴を掘りなさい。以前、糸藤さんにいただいた言葉です。

1日目の「アサーション学習入門」（牛島先生／アサーティブジャパン）によってアサーションを学ぶこと、実践することもまた深い穴を掘るためには、とても効果的だとわかりました。

.....

今回、糸藤さんは「関心」というキーワードを提示されました。

- ・「関心」は「磁石」のように、必要な「情報」を吸い寄せる。
- ・「関心」は「磁石」のように、必要な「人」を呼び寄せる。
- ・「関心」の強さと、持続は、創造へつながる。

- ・そして『関心の共有化』という、コンセプトを提示されました。

2日目が終わって、ずっと、このキーワードの意味を考え続けていました。まさに「関心」という言葉に、ひきつけられたのです。

.....

そして、いま、次のようなことを感じています。

このキーワードは、今回の2日間のテーマであり、これからさらに世界中に、真・報連相を広めていくために、必要なコンセプトだ、ということです。

.....

2日間参加の皆さまは、真・報連相に深く「関心」を持って来られた方、そのものです。糸藤さんは、初日の午前中、「芯が欲しかった・・・。」ということ、言われました。

つまり『関心の共有化』というのは、2日間を通しての「芯（コンセプト）」であったのだ！とそうように私は、理解しました。力強い背骨でした。参加者の「関心」をひきつけて、はなしてくれませんでした。



互いの「関心」を芯（軸）に、その周辺を思う存分歩き回ることができました。  
広く、深く、着実に互いの関心と学びを共有することができました。  
ありがとうございました。

.....

次に、このキーワードは、世界中に、さらに真・報連相を広めていくために  
必要なキーワードとして提示されたのではないかと感じています。  
つまり、報連相の本質は『情報の共有化』ですが・・・  
いま、必要なのは『関心の共有化』ではないか、ということです。

2日間の中で「ニーズ」と「ウォント」のちがいについて触れられました。

>ほうれん窓の第66号

- > 『真・報連相の考え方を広めるのは、ウォントによって・・・』（資料より抜粋）
- >・・・真・報連相の考え方を、世にひろめようとしているのが、私たち会員です。
- >世間のニーズは、「今までの報連相」にあるようです。
- >つまり手軽にすぐ役に立つやり方を求めているように見えます。
- >しかし、私たちは、ニーズに応えることも必要ですが、
- >むしろ、ウォントを見抜いて、そして私たち自身のウォントによって、
- >「真・報連相」を広めつつあるのです。このように感じています。・・・

世間のウォントを見抜いて、  
そして私たち自身のウォントによって、  
「真・報連相」を広めていくために、いま必要なことは？

異文化、グローバル、ダイバーシティ、無縁社会・・・  
これらと、私たちは、どう向き合っていけばよいのか？

この問いに、糸藤さん自身が出されたひとつのこたえが  
『関心の共有化』というコンセプトではなかったのか、と感じるに至りました。

この時代に、現実の世界において、文化や価値観、関心領域のちがう人たちがつながり、  
互恵の関係を広げ、深めるために、  
「真・報連相」にできること、芯のある明確なメッセージ、そしてキーワード  
それが、『関心の共有化』なんだと。・・・私には、聴こえました。

お互いに知り合いになること。  
互いの関心を知ること。互いの関心に関心を持つこと。  
互いに大切しあうこと。  
互いに大切にされているという気持ちに気づき、感じるあえること。  
.....

心ここにあらざれば見れども見えず聞けども聞こえず。ですが  
その一方で、「知らば見えじ、見ずば知らじ」  
(民芸運動の父といわれる柳宗悦の言葉／やなぎ むねよし)。とも・・・

糸藤さんからは、深い穴を掘るには、大きな穴を掘りなさい。  
と教えていただきました。

「真・報連相」という、穴を、掘っているのは、この私です。  
その穴は、私が掘りたい穴です。  
いずれは、創造へとつながるような、とても深い穴を掘りたいものです。

しかしその一方で、たまには穴の底から、出口まで戻って  
穴の大きさや場所も確かめることも必要だと感じました。

私の掘っている穴は、当たり前ですが、私が掘りたい穴です。  
他の人が掘っている穴とは、ちがうことでしょう。

自分の穴を深堀し、新たな創造へつながることを目指しつつ  
時には、他人の穴も想像したり、拝見したりしながら  
自分の穴の位置や大きさを確かめようと思っています。

できれば一緒に掘ろうと提案したりして・・・  
それこそ、ひとつの『関心の共有化』です。

多くの人が掘りたくなるような大きな穴を用意して  
多くの方は興味を持つような大きな穴を用意して  
みんなで掘れば、今回の2日間のように、とても楽しくなるのでしょうかね。

これからも、皆さんと一緒に「真・報連相」という穴を  
チカラを合わせて、大きく、そして深く、掘りたい。

そして、その穴掘りそのものを、ずっとずっと楽しみたい。  
そんな風に思わせてくれる2日間でした。  
本当に、ありがとうございました。

わはははははは ♪ (やっぱり。笑っておこう。)  
2012. 03. 11 中富正好様

~~~~~

(20) 小田譲さん (投稿日3月11日)

糸藤様 参加された皆様へ 上海から参加しました小田です。  
2日間、大変お世話になりました。  
学びの深さ、またその広がりと言い感動しました。  
3点です。

- ①アサーションの理解が深まったこと。
- ②関心というキーワードの存在。
- ③そして私自身の真 報・連・相の座標軸の健全なる修正ができたこと。

明日、上海に戻ります。 また皆様とご一緒に学びたいと思います。  
本当にありがとうございました。 小田

~~~~~

(21) 田港華子さん (投稿日3月11日)

糸藤さま シニア塾の皆さま 大変お世話になりました、沖縄の田港です。

糸藤さんの2日間のパワフルな塾生とのライブなパフォーマンス。  
塾生の方々の全体討議のハーモニー、すごいオーケストラでした。  
私も力が湧いてきました。今の時点での印象に残ったことを3点申し述べます。

- ①「関心(選択的注意・カクテルパーティ効果)」について  
『報連相があるとかないとかの前に、何が見えていて、  
何がみえていないのかからスタートするということ』  
『雑踏の中でも関心のあることはきこえる』

関心の共有化を実現されているツタヤさんの事例を改めて考えてみます。  
三菱化学滝本様の社内での報連相研修の取組みについての発表は  
通常きけない貴重な情報でした。第2段もぜひききたいです。

②「権限委譲と中間報告」

上司の中間報告の要求にマイナスの感情を持つ部下がいるには驚きました。  
外資系（成果主義傾向の強い組織等）のように「Jobがあつて人をおく」と  
日本型企业のように「会社に身をおく」という考え方の違い。  
どちらがいい、悪いということではなく、レベル表が5段階使えるときと  
2段階まででいい場合の判断。

③「自分マニュアル作成と著作権厳守」

今回使用した「自分マニュアルシート」はすぐ使えるツールです。  
自分用の虎の巻59フレーズ、コツコツつくります。  
私は準備に時間がなく、説明不足を恐れ、新聞記事のコピー配布  
や読みあげたり、書籍は紹介しながらも一部資料として  
抜粋したりと著作権について甘かったと反省です。

糸藤さん、シニア塾の皆さま、ありがとうございました。

~~~~~

(22) 中富正好さん (投稿日3月11日・第2信です)

中内さま

お世話になります。 中富@関西支部です。

いつも、貴重な振り返りの議事録を提供いただき  
本当にありがとうございます。

3月9日・10日のシニア講師塾で

素晴らしい議事録を、みなさんと一緒に共有させていただきました。

中内さまの職場での取り組みは、

私たちが目指している「内製化」のお手本です。

いただきました議事録の中で

特に、個人的に、追記のコメントに、驚き、そして感動いたしました。  
それは下記です。

- >追記（注：ツタヤ砺波店 振り返り議事録から /記：中内さん）
- >課題を持ち寄って自分の意見を発表し、メンバーの意見を聞いていると、
- >自分の中に内省が起こってくる。
- >それが、真報・連・相で言う「自分を含めた全体状況をみよう」
- >ということなのではないかと思う。
- >「あの時、〇〇さんにはこうして欲しかった。しかし自分はどうだったのだろうか、
- >自分がもっとうこうしていたら、状況は変わっていたはず・・・」
- >振り返りの強みは、ここにある。

この数行に、振り返るといふことは、どういうことなのか？（以下 中富さん）  
そのあり方が、凝縮されていると感じました。

- そして・・・（注：以下は、ツタヤ砺波店 振り返り議事録から /記：中内さん）
- >メンバーの一人一人が未完成な自分に気づいて、
- >お互いに相手を思いやりながら報・連・相を重ねていけば、
- >風通しの良い企業風土が作られていく。
- >近日に入社する新入社員たちにも、確実に伝えていきたい。

心が震えました。（中富さん）

お忙しい中、貴重な議事録を公開いただき本当に、ありがとうございました。  
今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

2011.03.11 中富正好拝

~~~~~

（23）阪口武さん （投稿日3月11日） / （シニア塾メーリングリストから転載）

糸藤さま シニア講師塾参加の皆様

2日間ありがとうございました。HBO阪口です。

糸藤さんとの出会いは、講義の中でお話のあったように、「相談の3度～心を開き、

腹を割って相談できる人を持っている」がどうして3度ですか？4度ではないのですか！  
という質問に、

「4度でもいいんですが、スペースが空いていたので、そこに入れてただけですよ」と  
さらっと言われました。素晴らしい答だと感心して、即座に入会を決めました。

今回、2日間塾生として参加して、当時よりさらに磨きがかかっていることが確認  
できました。懇親会後の2次会で、羽田さんから、「糸藤さんの一言ひとことに、  
大きくうなずいてましたね」と言われました。楽しい2日間でした。  
ありがとうございました。

私のシニア塾における目的は、マネジメント研修に真報連相をビルトインして  
「マネジメント研修」を構築することでした。しかし、参加してメンバーと話すうちに、  
真報連相を軸にしてマネジメントの考えを入れて「真報連相マネジメント研修」に  
すればいいと気づきました。まさしく逆転の発想でした。

これから、組み立ててみます。本当に収穫の多いシニア塾でした。

もう一つの目的は「人脈づくり」でしたが、これも前夜祭や、当日の懇親会での  
「真報連相チームZORO」の結成、2次会での多くのメンバーとの楽しい語らいで、  
素晴らしい人脈を築くことができました。

参加者が多かったので、全員の方とのゆっくりお話しできなかったのが残念ですが、  
これからの出会いで築いていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

それから、吉里さんが「還暦＝59＋1（関心）」と言われた「関心」という言葉は  
好きな言葉です。講義の中で出てきた「武蔵野の小山社長」の講演の時、「愛とは関心を  
持つこと」と言われたのが心に残っています。

また、お会いできることを楽しみにしています。

~~~~~

(24) 藤田かずえ さん (投稿日3月11日) / (シニア塾メーリングリストから転載)

糸藤 様 皆様

2日間ありがとうございました。名古屋の藤田かずえです。

ず～と10年間、幽霊のような会員（糸藤さんのお言葉です・・・）でしたが、関心があったので、皆様のメールは目にしておりました。そして、関心が今回のシニア塾へと私を呼びました。

10年ぶりに糸藤さんとお会いして、時空を超えて、すぐに声をかけてくださり、時間が埋まりました。一瞬です。

私が今回気づいたこと、学んだことは

1. 3ヶ月間の準備の期間に私の報連相の今までの研修のあり方、考え方にまた、新しい視点が生まれたことです。今まで、ここ10年間、余りに止めていなかったレベル表の言葉に引きつけられました。
2. 私なりに人との関わり、仕事の中で3つの視点、レベル4、5の行動はとっていたつもりでしたが、糸藤さんとの3ヶ月の関わりの中で、また、この2日間の研修の中で、まだ、不足しているなど感じる点が多々ありました。まず、私が3つの視深、レベル表の実践者でありたいです。
3. 参加された皆様の経験から発せられる言葉に色んな見方があるのだなとつくづく感じさせられました。

以上です。また、機会がありましたら、また、関心があれば、たぶん、どこかでお会いできるでしょう。その時はお声をおかけください。 藤田かずえ

~~~~~

（25）外村妃彩枝さん （投稿日3月12日）

糸藤様 シニア講師塾ご参加の皆様へ  
お世話になります。名古屋の外村です。

糸藤さん、そして皆さま2日間ありがとうございました。  
いまだ興奮冷めやらぬ私です。

感想と気づき

- ①改めて「真・報連相」の奥の深さを感じた次第です。  
そして、レベル表を検証する中、研修の進め方次第で、

一つのキーワードからも受講生に実に多くの気付きをもたらすものであることも体感いたしました。

ただし、そこには講師としての質が問われます。

人間力・講師力・・・自分磨きの必要性を痛感いたしました。

まずは、自分マニュアル作成をやっていきます。

## ②「関心」

①で述べたことも、すべてはこの言葉からスタートするように感じます。

「関心」により、情報と人を惹きつけ吸い寄せ、創造する世界を創りあげる。

まずは、私自身がこの言葉を意識することで、何かが変わるような気がいたします。

③ 海外から参加された皆さんのお話し（生情報）を大変興味深くお聞きしました。

そして、増田さんのコメントには共感いたします。

（私自身大学の非常勤講師をしています）

学生からグローバルな世界までのお話しを伺いながら、

真・報連相の考えは世界平和に繋がる・・・そんな壮大な思いがよぎりました。

真・報連相に関わることの意味の大きさを感じた次第です。 以上です。

また、皆さんにお目にかかれる日を楽しみにしています。

皆さまの益々のご活躍をお祈りいたします。

~~~~~

（26）羽田 優 さん （投稿日3月12日）

糸藤様 NHC 会員各位

お早うございます、関東・甲信越支部の羽田です。

さて、3月9日、10日と掲題のシニア塾に参加しました、

多数の参加者の中、多くのヒント気付きを頂きました。

まず糸藤前代表のシニア塾への取り組み、それは書籍物、

事前課題と魂の入った一連の流れ、大変勉強になりました。

今回のシニア塾で学んだことは真・報連相は常に進化し続けている



ことを実感できたこと、己の視野が思った以上に狭かったことなどが収穫の一つでした。(糸藤代表の発せられる言葉を一言一句聞き漏らさないよう全身を巨大な耳にしておりました)

5段階レベル表や演習問題へのグループディスカッションへの導き方、発表に対してのコメント力、受講生からの返答に対しての受け止め方など凄いい、まいった、絶句の連続でした。

滴血骨という言葉がありますが、このシニア塾でこの言葉の意味がようやく理解でき腑に落ちました。

研修、人にもものを伝えることの、命がけ(羽田さん、表現がオーバーだよ肩の力を抜いての言葉が聞こえるようですが)の凄さ(素晴らしさ)、ある意味、教える側と、受け止める側が真剣に命がけで取り組み吸収する、研修とはかくあるべきとしみじみ感じ入りました・・・。  
今が適齢期の言葉通り今後も楽しく真・報連相を楽習し、伝道師と実践者になります。

著作権については大変勉強になりました、以後細心の注意を払います。  
有り難うございました。資料頂ければ幸いです。

深謝

~~~~~

(27) 糸藤正士から (投稿日3月12日)

お世話になります。糸藤です。

シニア講師塾@名古屋へ参加された塾生の感想メールにたびたび新(真、芯)キーワードとして「関心」が登場しています。

塾へ参加されていない会員の方には、わかりづらい情報だったと思います。添付のシートのことです。これを配布し若干の説明を当日加えました。説明の概略は下記です。

~~~~~

「関心」は、例えばハンドブックの65ページに出てきます。

・・・「関心」は 必要な人を呼び寄せる

例示です。

また、先般このメールで流しましたNYの吉里さんの机の上の写真に  
ハンドブックの存在を発見し、糸藤へ連絡された中富さん。  
次には、「Lカードも載っていますよ」、とご連絡くださった藤井えつこさん。  
・・・お二人の真・報連相への「関心」が発見させたのです。  
情報を吸い寄せた実例です。

糸藤が関心を持っているはずだから、という相手の関心も知っておられた  
のです。(関心の共有化)。「関心」が情報を呼び寄せて、・・・その結果  
連絡が発生したものです。感心しました。

「関心」のある人にしか、情報は見えないし、聞こえない  
ということです。・・・その後、見えた・聞こえた情報を報連相するかしないか。  
するならば質の高い報連相か、まずい報連相か・・・、と 展開するわけです。

『真・報連相読本』の69ページもご参照ください。  
そこにも「関心」が 沢山登場しています。貴重な実話 が載っています。

~~~~~

聞くところによりますと、  
これを「選択的注意」とか「カクテルパーティー効果」とか、  
(アメリカの)心理学者は言っているようです。パーティーの雑音・雑踏のなか  
でも、自分の名前は誰かが小さい声で話していても耳に入る、というたとえです。

真・報連相のなかで、「関心の共有化」とか、  
真・報連相の芯、 ○○の芯は「関心」だ、 という風に  
関心に関心が高まるかも知れません。

ということで、参加できなかった会員の皆さまに、一部分ですがシニア講師塾  
の情報をお届けします。 添付の(次のページの)一枚をガムのように噛んでみて  
ください。 案外 おつなあじが でてくるかも・・・

(関心 以外の情報は 少し先になって徐々に お伝えしたいと思います。  
私が目先のことに追われているからです)  
以上です。 よろしく願いいたします。

~~~~~  
(28) 塩田涼子さん (投稿日3月12日)

糸藤様 シニア塾ご参加の皆様・そして会員の皆様

皆様、おはようございます。塩田です。このたびのシニア講師塾に参加いたしました。

参加した皆さんの感想を読み、私も同じ空間にいたので共感する部分が多いものの、私はと言いますと二晩寝ても頭がモワモワしてうまく整理出来ずにおります。

3つに分割で感想など程遠く(笑)等身大の感想を述べたいと思います。

二日間だけでなく、申込んでからの約1ヵ月半。

「気づき」「感動」「自己の振り返り」「仕事と人生への次へのヒント」などなど多くのことを得たのは事実ですが、うまく説明できないのです。ただ、

● 道を知っていることと、歩くことは違う

を痛感しました。

レベル表の言葉(特に4,5度)を知っていても、DVDは使っていても、それを活かすまでには程遠かったことが分かりました。会員になり10年ほど経ちますが、あまりの自分の浅さに笑いが出るほど。

しかし、私にとってはこのタイミングで講師塾が開催され、参加したことに大きな意味がありました。

三角形の上部が「59項目のレベル表」、その下に「3つの視深」があります。そのもっとも底辺の糸藤さんの生き方や精神性のようなものに触れた1ヵ月半でした。私にとっての三角の底辺(生き方、精神性)は私がこれから生きていく上で育むものだと思っています。

懇親会でも2次会でも参加者の方々と終わりの無い(結果の出ない)分かち合いをしました。研修が終わってもこのように心に残り、分かち合いをしたくなる“これこそ”が真・報連相の深さです。

二日たっても「真・報連相」についてモワモワ考えている…

そしてこれからもきっと考える…

この影響力の大きさに驚いている事が一番の感想です。

「関心」のキーワード。

これから色々なことに心を寄せて（関心）生きていく中で

真・報連相は私の中でさらに深く流れていくと思います。

糸藤さん、講師塾ご参加の皆さん、ありがとうございました。

● 宣言！

今回参加しなければハンドブック 10 回読むことは無かったです。

読むたびに心にヒットする言葉がありました。

山種証券に習い（笑）私は（毎月 9.10 日←シニア塾開催日）を

“ほうれんそうの日” にして、月 1 回ハンドブックを読みます。 塩田



（29）滝本幸二さん （投稿日 3 月 1 2 日）

糸藤様 シニア講師塾参加の皆様

私の、シニア講師塾参加の目的は、①皆様から、講師のスキル・マインドに関しての気づきを得る。②階層別の真・報連相研修を、更に現場での実践に繋がるよう、具体的な進め方とするためのヒントを得る。にありました。これらは自分なりに得るところが大であったと感じており、糸藤先生、塾生の皆様に感謝しております。以下、感想として次の 3 点を挙げます。

（1）受講前に資料「真・報連相研修の進め方について私が考えること」、で最も気にかけていた箇所が、”受講者に「何を考えさせるのか」が講師の仕事です”という部分です。

そのことが①、②の参加目的に対して示唆を与えていると思ったからです。いたずらに手段に走ることなく、そうかといって抽象的になり過ぎず、研修の目的を果たすためにまず、最初に考えるべきことだ、ということが 2 日間の受講をとおして私なりに納得できたと感じています。

（2）「関心」という言葉が皆様と同様、心に残り、更に自分なりに考えてみたいと思っています。私が、以前研究開発マネジメントに従事した時に、よく引用した

言葉が「セレンディピティー」です。常に関心を持ち続ければある時、突然のひらめきが得られるということで、モチベーション維持に有効と思っていました。

また、若手の研修で好んで引用する「ハプスタンスセオリー」もある意味で、関心を持ち続けることの大切さを伝えていきます。

これらは、今回の「芯」としての「関心」の一側面かもしれませんが、自分なりに考えを深めてみたいと思っています。

(3) 私は、主に自分の仕事面で、「目標による管理」や、それをより効果的に進めるためのコミュニケーションのツールとして、ファシリテーション、コーチング、アサーション、行動分析・対応などを適用し、更にそのOSとして真・報連相を位置づけると考え、実行してきました。

今回の、受講をとおして感じたのは、「コミュニケーション」について、もっと考えてみる必要があると感じたことです。「コミュニケーション」については、単なる伝達ツールではなく、自分が変わったり（触発、本当の自分の発見）、相手との関係が変化したり（お互いに成長、互惠）することが本来であるということ以前本で読んだことがあります。まさに真・報連相は（特に4、5度は）そのことを明快に語っていると感じました。

年を重ねても、いろいろと考える素材を提供してくれるので、これを楽しむということにしたいものです。

また、皆様と交流できることを楽しみにしております。 NHC293 滝本幸二

~~~~~

(30) 増田伸子さん (投稿日3月12日)

糸藤様 シニア塾の皆さま

ありがとうございました。

2日間の塾は本当に楽しく（疲れましたが）過ごさせていただきました。

ちょっとした追加と感想です（雑多ですみません）

①糸藤さんから良いコメントと褒めていただいたのですが・・あまりうまく伝えられなくて。。すみません。 (真意はもちろん「中高年」にあるのではなく(笑))

★中国の方もアメリカの方も若年者も・・他者は基本的に異文化なのだと思います・・

★その異文化に対する尊敬の念がとても大切なんだ！と改めて思いました。  
★そして「中間報告」も異文化に向けて意味づけしていくことが大切なんだと思いました。  
(吉里さんのおっしゃっていた「情報共有」にすると上手くいく、というのが印象的でした)

②上村さんがお話しいただいた事例の中で「命を守る真報連相」というのも印象的でした。  
最終的に何のために相互にコミュニケーションしていくのか・・・  
はっと気付かされた一言でした。

③波多野さんが教えてくださった5段階表の関連付けの考え方は・・・とても勉強になりました。  
立体的に考えていくことができ、組織コミュニケーションのなかでの使い方がイメージできました。  
本当は59のひとつひとつの項目をそのときどきの受講生にわかりやすく意味づけしていくことが必要なのだ。。と思い至り・・・ちょっと溜息でした。

でも、頑張ります！ありがとうございました。

~~~~~

(31) 徳永智久さん (投稿日3月12日)

糸藤 正士 様      シニア講師塾ご参加の皆様      NHC会員の皆様

お世話になります。No. 142の徳永智久です。  
3月9日・10日のシニア講師塾(集合塾)に参加させて頂きました。  
今の“気持ち”を報告させて頂きます。

約半年前から始まった自己学習。  
私も直近になって、つつい肩に力が入っていました。  
集合塾を終え、自宅に戻った時には心地よい疲れと清々しい気持ちで  
満たされていました。この新鮮な気持ちは何処から来るのか・・・  
と考えていた所、集合塾を通じて共に学び合った、“人”との出逢いやつながり  
による感謝の気持ちであったように感じています。

例え、参加する自己目的が明確であっても、私にとって「自学自習」「自問自答」を  
続けることは並大抵ではありませんでした。そんな中、自己を高めつつも、MLを通  
じて対話によるつながりに随分と勇気づけられていたように感じています。

人間力のある方々が本物（本質）を見抜く力があって、真・報連相を好きになったのか、真・報連相が魅力的な人を惹きつけるのか分かりませんが、いずれにしても信頼できる、尊敬できる、本当に素晴らしい方々との繋がりに感謝したいと思いました。一人では深まらないような学びも多くの方の知恵や経験によって、気づきが深まったように思います。本当に感謝です。

まさに「関心」という、新（真・芯）キーワードは深みがあります。この深さの意味を肌で感じられるように常に自己を振り返りつつ、深く考え、洞察し、より高い次元で真・報連相を広めて生きたいと思います。

そして、講師として、最も関心を寄せた、  
『受講者に、「何を考えさせるのか」を 考えるのが講師の仕事』  
ここに意識を集中し、自己のメタ認識力を高める修練と質の高い問いに関心を持ち続けたいと思います。

「集合塾」は今回で終わりましたが、私にとっては、これから新たなスタートです。「自学自習」と「自問自答」を続け、勉強会や全国大会などを通じて、更に学びやつながりを深めたいと思いますので、今後ともよろしく  
お願い致します。

本当に2日間、大変お世話になり、有難う御座いました。  
季節の変わり目です。皆様、お体ご自愛下さい。



（32）上村幸司さん （投稿日3月12日）

増田さん（上村さんから）  
初日同じ班で出発させていただき光栄でした。

増田さんの、「日本国内でも（中高年と若年層の）異文化がある」問題提起は絶妙のタイミングでした。存在感ありましたね。

- > ②上村さんがお話しいただいた事例の中で「命を守る真報連相」というのも印象的でした。
- > 最終的に何のために相互にコミュニケーションしていくのか・・・

> はっと気付かされた一言でした。

ご感想をお寄せいただき光栄です。日々ものづくりの業界で「安全第一」が身にしみておりますので、自然と発した言葉でしたが。

入社した社員が、そのままの身体で帰社する、当たり前を継続させたいと思います。

そして、イザのいうときの「クライシスコミュニケーション」を真・報連相で実現念願するばかりです。

ありがとうございました。またお会いしましょう。 会員No.252 上村 幸司

~~~~~

(33) 戸谷一彦さん (投稿日3月12日)

糸藤様 シニア講師塾ご参加の皆様へ

糸藤さん、皆さん、シニア講師塾では大変お世話になりました。戸谷です。

メール遅くなりまして失礼致しました。

私個人のことになりますが、今回の名古屋は、この4月から二番目の娘が名古屋の企業に就職が決まり、その引越しも兼ねての講師塾で、日曜日の夜まで名古屋に滞在しその後、車で横浜の自宅へ無事帰ってきました。

今回のシニア塾で私が感じたことを3点述べさせていただきます。

一つ目としては、初日に糸藤さんからお話がありました「関心」というキーワードです。

「関心」は、磁石のように必要な情報を吸い寄せるといってお話、あらためて、その言葉を自分の中で再認識をいたしました。

私自身、現在職業訓練校でキャリアデザインの話をする機会があります。

その際、受講生が「自分のやりたいことがわからない、また、やりたいことがあってもどうしていいのかわかりません」といった話を聴きますが、

私がよく皆さんに自分の好きなこと、関心があることに”いつもアンテナを張るように”ということをお話することがあります。

私もそうでしたが、何か自分にとって「関心があること」を思い続けると、必ず磁石のように情報がひっかかる、そんな経験がよくありました。

「関心」というキーワードがあらためて、自分自身の日ごろ気にかけている言葉と



合致したという思いを持ちました。

二つ目は、シニア塾での皆さんのお話を聴いて、自分がなぜ「真・報連相」を学んでいるか（その目的）を、あらためて考える機会を得たことです。

私自身、社労士として7年前に独立しましたが、それ以前はサラリーマン生活（7社を転々？）といっても最初の会社を除いて、倒産や合併で辞めざるを得なくなったことになりました。

良い人材ばかりの会社でしたが、結果、「真・報連相」ができておらず、組織が機能していなかったことが倒産の原因であったと思います。

その思いから、自分が少しでも個人、組織が質の高い成果をあげ、働き甲斐のある組織を作る一助として、企業や人の役に立ちたいという思いから、自分は「真・報連相」を学んでいるという意識を今さらながらに再認識したところです。

最後は、今回の講師塾は私にとって本当に楽しい塾でした。糸藤さんや皆さんからパワーをもらい、多くの気づきをもらうことができ自分自身成長できた2日間でした。皆さんに感謝の思いでいっぱいです。本当に有り難うございました。

これからも皆さんと一緒に「真・報連相」とともに成長していきたいと思います。皆さん、これからもよろしくお願いいたします。

最後になりますが、糸藤さん、今回の講師塾本当にお世話になりました。

糸藤さんの言葉一つひとつを思い出しながら、これからの仕事頑張っていきたいと思います。

~~~~~

（34）馬岡孝行さん （投稿日3月12日）

糸藤様、そして皆様。充実の2日間、ありがとうございました。

（無事、台湾に戻りました）

糸藤さんの懐と器の大きさに支えられた安心感、安全感ある場で、

「皆で一緒にもう一歩高みを目指そう」というシニア講師塾。

詳しいレクチュア、チームディスカッション、全体ディスカッションの全てが印象に残るものでした。

これまでの研修会や情報交換会と何が違っていただろう？

●具体事例の圧倒的増加と深化

・報連相に関する具体的な事例を皆さんからたくさん教えていただき、また自分でもいろいろ発想（思い出し）することが出来、レファレンスが大きく拡充した。

●展開力を中心とした「実践講師力」のUP

・研修参加者の理解や納得度を従来以上にアップする  
問い掛けや観点（「関心」等）、演習展開へ議論が及び、「講師」としての具体的実践力が高まった（気がしている（笑））。

●マインドステージ向上の重要性の自覚

・「守破離」の「守」から「破」へのマインドステージの拡大と  
「真・報連相」活動の発展に向けて、「自分はどんな貢献が出来るのか」の内省と自覚が過去最高に広がった。

自分にとって特に大きかった学びと気づきです。ありがとうございました。

特に3番目の観点は、糸藤さんの「もっと皆さんが報連相を育てて欲しい」、「PP資料も全てシェアします」という訴えを伺い、「報連相はOS」と言われてきた表現とも重なって、私の中では「報連相はWindowsでなくLinuxや」（オープンソース・皆で深化させていく）という想いが強く走りました。

その意味で次回以降、以下のような「幹を太くするための周辺テーマを取り込んだ勉強会」の計画があってもいいのかと（Just Idea的ですが）感じました。

- ・報連相に活かすDISC
- ・報連相とコーチングの接点を探る
- ・報連相と選択心理学
- ・ダイバーシティマネジメントと報連相
- ・その他

全体状況の把握が弱く、大きな誤解等があった時はご容赦下さい。

>中富さん、小田さんへ。

名古屋で真っ青な顔でご相談させていただいたパソコンの入力問題の故障。台湾に戻り、今、やっと復活しました！

ご心配ありがとうございました。

(皆様からの個別のメッセージにも返信が全くストップして  
おりました。申し訳ありませんでした)

引き続きどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。

~~~~~

(35) 田中幸裕さん (投稿日3月12日) / (田中さんはお世話役です)

増田伸子様、皆様

オブザーブさせていただきありがとうございました。ご迷惑になっては、と思いましたが、  
厚かましくも2日間糸藤山(さん)に登らせていただきました。

違和感なくおつき合いいただき深謝いたします。いつのまにか、「オブザーブ」が「カメラマン」になり、2日目にはメンバーの方から、「フロントで鍵を預かりお断りもなく研修室の部屋を開けてしまいました。申し訳ありません」といわれ、

「ゴミ箱は用意していないのですか」と聞かれ、「DISKのパフレットがいただきたいのですか」と要求され、「コピーお願いします」と糸藤さんからお願いされ、  
最後には、すっかり「事務局」でした。

ジョブ・ディスクリプション(職務基準書)がワンマン・ワンジョブに峻別されていない

「あいまいな日本の私」(大江健三郎)の一員である小生は、「役に立っているのかも」と、かなり真剣に喜んでおおせつかった役割を担っていました。

かなり古い話ですが、今はなくなった政府系の銀行で研修をしておりますと、  
アメリカの駐在の方からあるエピソードを聞かせていただきました。

同僚が3日ほど、風邪で休んでいたのを気を利かせて彼の仕事を少し手伝ったのです。

そうすると彼は休み明けに、私のところに怒鳴り込んできました。

『僕の仕事を奪うつもりか』、と。これは私の研修場面での体験です。

欧米の仕事の捉え方は「レンガ積み」で「ジョブ・ディスクリプションに則った契約です。

欧米の仕事の進め方が浸透した世界の他の地域でもそうした考え方が根づいているようです。

あるジョブを担当する人が退職すれば、その職務について精通している人を外部から、  
あるいは内部から「雇う」「あてはめる」=「適所適材」という考え方です。

しかし、日本では上記のように「気を利かせて」代わってやってあげることが起こります。

「レンガ」のように仕事が峻別されておらず、能力のある人も、まだ能力が備わっていない人も、皆で力を合わせてやろうという「石積み」(城の石垣)のような仕事観があります。

「小さな石」も「大きな石」も助け合って仕事を進めます。

ですから、「適所適材」ではなく「適材適所」です。

その人の保有能力に合った仕事を与える。そして、力がつけば次の仕事を担わせる「適材適所」です。

「OJT」がアメリカで花開かず、なぜ日本で花開いたのか、このような仕事観・組織観があったからだといわれています。

「人を育てる」考え方も同様に日本の方が進んでいるように思います。

このお話は20年以上前に糸藤さんが書かれた論文の私の勝手な解釈と記憶の断片です。

「報連相」に対する思いの違いが文化や習慣の違い、労働観・組織観の違いとしてある、と思います。

そこで、増田さんの「異文化」と「尊敬」のお話に敬意を表します。

「グローバル・マインド・セット」という考え方があります。

日本人は苦手だといわれてきました。謝さんや欧さんと接していると彼女たちの「オープンマインド」には感心させられます。 凄いです。

「グローバル・マインド・セット」をスイスのビジネス・スクールの学長が定義づけています。

その中にこの「オープンマインド」があります。

そして、増田さんのいわれた「尊敬の念」を「他者を敬う姿勢」といった表現で述べています。(他にも8つほどの定義をしています)

「ダイバーシティ・マネジメント」においても大切な要件に入っています。

そして、

糸藤さんの「が」から「を」についてですが、「わたしが学ぶ」から「わたしを学ぶ」が大切だと思っています。 異文化に接するときも「自己理解」は欠かせません。

「異文化への理解」の前提に「自己理解」が大切だということです。

わたしは30年と少し、新人研修から経営層研修まで、ずっとこの「自己理解」を中心にして仕事をしてきたように思っています。

糸藤さんの「真報連相」は「下意上達」的な、あるいは「上意下達」的なピラミッド型の意思疎通の考え方や道具ではなく、フラットなドーナツ型のコミュニケーション、お互いを尊重する「互惠」の思想をベースにしたものだと理解しています。

と勝手なことを書いてきました。

恐らく途中で読むのをやめた方もいらっしゃると思います。

長々と済みません。(自己理解が足りないようです)

今後ともよろしくご指導ください。

田中幸裕 (392番です)

~~~~~

(36) 濱田佳之さん (投稿日3月12日)

糸藤様 シニア講師塾ご参加の皆様

お世話になっております。 NHC345の濱田です。

シニア講師塾に参加しての感想・気づきをご報告します。

今回の私のシニア塾参加の目的は、

- ①「真・報連相の理解を深める」
- ②「真・報連相の企業研修への効果的な活用を学ぶ」 の2点でした。

まず①「真・報連相の理解を深める」についての気づきです。

今回のシニア塾で、真・報連相の理解の深度が深まりました。

私はビジネススキル・ヒューマンスキル系の講師経験はありますが、

まだ真・報連相研修を実施したことがありません。

真・報連相のコンテンツは、十分に理解しているつもりでしたが、

レベル的には、る深度1レベルでしかありませんでした。

今回のシニア塾に参加し、糸藤さんや皆さんとの演習やディスカッションをとおして、真・報連相のひとつひとつのコンテンツの意味や目的が理解でき、

深度2レベルにステップアップしました。

さらにシニア塾の二日間、糸藤さんのお話から、真・報連相をさらに進化していき来たという「熱い思い」、また参加者の皆さんの真・報連相に対する「熱い思い」を随所に感じ、会員の皆さんの心がそろっている姿を目のあたりに感じる事が

できました。 シニア塾終了時点では、深度3にレベルアップできました。  
私自身、事実情報としてとらえていた真・報連相を、意味や目的が共有でき、  
さらに考え方の波長の共有化まで深めることができました。

②「真・報連相の企業研修への効果的な活用を学ぶ」について、

私は現在企業内で人材育成を担当しています。弊社の各組織・部門において、  
管理職の育成が課題です。この真・報連相を管理職向けに活用したいと常々思っておりまして。  
今回のシニア塾で、糸藤さんのレクチャーを受け、また皆さんとの演習・ディス  
カッションを通じて、その活用のヒントつかむことができました。  
それは、5段階のレベル表にはつながりがあることの気づきです。

報連相の1度～5度までをひとつひとつ説明するのではなく、関連した項目でつ  
ながりを持って進めることで、理解が深まることに気づきました。

(皆様はすでに感じていることかもしれませんが・・・)

研修目的やニーズに応じて、59項目+「関心」の中から研修テーマを決め、  
それに関連する項目をいくつか組み合わせた構成で、研修プログラム化が可能で  
あることを認識しました。

真・報連相はあくまでの素材。

その素材をどのように調理するか(煮るのか、焼くのか、蒸すのか)

また、どのような手順で調理するのか(どの素材をどの順番で入れるのか)

さらに、隠し味に何を加えるか・・・。

目的、相手、自己に照らし合わせて素材を吟味し研修を考えていけばよいことが  
あらためて認識できました。

まさしく今回のシニア塾で、真・報連相の基本的な考え方、

3つの視・深、レベル表を深く理解することができました。

いまは、モヤモヤしていた頭の中がすっきりした心地よい気分です。

これも、糸藤さんはもちろん、ご一緒に参加された皆さんのおかげだと感謝して  
います。ありがとうございました。

今後も自己研鑽し、真・報連相の普及に貢献したいと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

~~~~~  
(37) 上村幸司さん (投稿日3月12日)

糸藤さま 塾生・オブザーバー各位 NHC会員皆様

不思議です・・シニア講師塾から帰社して、本日社内の或る小集団の月に一度の活動に臨んだときのエピソードです。(いつも各小集団毎に15分間のミニ講師を分担しています)

テーマ:「定期人事異動に伴って あなたが注意しようとする 引き継ぎ(報告含む)を教えてください」

(皆に1~2項目書いてもらう)

↓

(A君、いいですね、さすがいいところに気づきましたね、等のやりとりをして)

↓

(まとめ段階に入り、以下のように3つの視点がスラスラと私の口をついて出てくるのです。それも自然に。)

「異動(の目的)は、単に動いてもらうのではなく、戦に勝つための最強の布陣を敷きたいのです。」

「その事をまず、自分(自己)が理解・納得してもらいたい」

「引き継ぎも(相手の)理解あつてのこと、要点・結論を簡潔に伝えるようにしよう。引き継ぎの目的は、相手に怪我させないこと、スムーズに実施して君の評価を高めるためだ、よろしく頼む。」

「新入社員入社時と人事異動時(環境の明確化)が一番危ない(安全衛生・品質関係で)。真・報連相でこの3~4月は特に無事故無災害でいこう！」

真・報連相はまさに仕事の進め方そのもの、を実感した一瞬でした。

(第二部に続く) 下記は、続きです；

~~~~~

1. 参加目的を明確に。振り返りはそれらに照らして。

①糸藤開発者者の警咳に接し、真・報連相の源流を辿りたい。

振り返り→20年間の開発者ご自身の実体験・会得された理論の集大成であり、日本の叡智とし

て海外へ真・報連相を輸出したい等、「志」先ずありきを実感。

②社内教育の根底として位置づける真・報連相の自信ある率先垂範者になりたい。

振り返り→この時代（天災事変はいつでもどこでも発生する可能性）、この業界（製造業）だからこそ、自社が展開する真・報連相は「命を守るための」ベース（最も重要な土台）であることを確信。

③社内での自分の役割を果たした後の、進む道標（みちしるべ）としたいがため。

振り返り→次の年男には還暦を迎えることを認識したとき、思わず「うわー」となった。真・報連相という一燈を頼りに、まずは向こう12年間を歩いていけることの手応えを覚えた。

## 2. 会社経営でのアサーション（積極的自己主張）の活用

ドッカン（攻撃的） オロロ（受身的） ネットー（作為的）

それぞれのコミュニケーションパターン（傾向）を知っておけば

誠実 率直 対等 自己責任

この4つの柱を立てれば なんと住みよい組織になる（建設できる）であろうか

## 3. 演習問題を作成できる人こそシニア？

例えば数学の大家は自分で問題が作れる人だ、と同じように、「楽しんで」演習問題を作成できるように習慣化されれば、真・報連相この道の達人と考えます。（人様の著作権にはくれぐれも留意が必要）

塾最後に述べた感想+α

●ファシリテーション、アサーション等、類縁分野を「スツと」受け入れる真・報連相に 懐の深さを感じました。

●ともすれば国内にその技術を止めておきたい分野(特に製造技術等)もある中で、海外からの”学び”を積極的に受け入れる度量の大きさに感動しました。

●糸藤さんにはいつまでもお元気で導いていただきたく念願します。

以上です。ありがとうございました。



~~~~~

(38) 荒木義雄さん (投稿日3月12日)

糸藤さま 皆さま

まいどありがとうございます。 No.302 奈良の荒木です。

私は初日の会場着が9:20分。 既にも志の皆さまによって机の配置など、準備は完了してました。(ありがとうございました)

会場内は皆さんの笑顔があり、BGMにヴィバルディーあり、と期待に膨らんだ空気が満ちてました。 気づきを三つ報告します。

1. 「より豊かな真・報連相」

糸藤さんから『他から学んだいろんなものを取り入れて、皆で、互恵で、真・報連相をより豊かにしよう』とのお話がありました。

私はそのために真・報連相の芯となる部分をしっかり学ぼうと思っています。

2. 「内省思考を深める投げかけ」

研修で講釈をしてもあまり効き目がない。

内省思考を深める投げかけをすることが大切。

例えばDVD「ピンチになった秋山君」の場合、「どうすれば良かったでしょうか」ではなくて「今この場面であなたが秋山君だったらどうしますか」と、『自分の問題』としてとらえる問いかけが大切。

3. 「勇気をいただく」

この2日間は糸藤さんの気力、体力、そして特に塾生の間をずっと行き来しながら指導して下さった終盤のものすごい迫力にふれることができとても勇気をいただきました。 ほんとうにありがとうございました。

追伸・・・BGMは効果があり、良かったです。 ありがとうございました。

302 荒木 義雄

~~~~~  
(39) 桑野里美二さん (投稿日3月12日)

NHC 会員の皆さま シニア塾に参加された皆さま 会員番号 201 大阪 桑野です

実況中継のような感想を書いていたのですが、  
あまりにも長文になってしまったので、下記3点に絞って感想と気づきと致します。

#### 1. 「関心」の共有化＝真報連相の芯

関心がなければ、問題が見えてこない。何も始まらない

実はこの見えてない部分にこそ大切な何かが隠れているかもしれないのに

「関心がない」ことへの気づきを促すことから始まり、持続させることで  
変革が生まれるのですね

「関心」は「磁石」のように、必要な「情報」を吸い寄せる

「関心」は「磁石」のように、必要な「人」を呼び寄せる

「関心」の強さは、持続は、創造へつながる

今回の自己紹介シートに「関心」を加えられた意味が分かりました。

波多野代表と一緒にグループになったとき、和歌山のはまちゃんが

「なんで波多野さんは、この項目で、そこまで考えられたり、事例が思いつかれるんですか」  
と訊かれました

すると、波多野さんは「僕は、管理職研修でレベル表を使ってお話しすることが多い。

管理職に、どんな風に内省を促そうかいつも「関心」をもっているからだと思います」

と、「関心」の実践例がすぐそばにありました。すんと腑に落ちました。

#### 2. アサーティブネス

私に一番欠けていると自覚をしているのが、このアサーティブネスです。

「率直」で「誠実」で「対等」そして行動の結論を自分で引き受ける「自己責任」

率直とは「言いたい事を言う」のではないと分かってはいるのだけれど・・・

相手からいやな人と思われたくなくて、自分の気持ちに嘘をつきながら・・・

必要以上に卑屈になったり、上から目線であったり・・・

実は「アサーション」には関心があって、何度もトレーニングを受けています。しかしその度に打ちひしがれ、「あかん、できへん。自分を変えるのは難しい」と言い訳してきました。自己変革の為にトレーニングを受けた糸藤さんに勇気づけられましたし、もう一度関心を向けて、関心を持続させたいと思います。

### 3. 世界観

確かに民族性というものはあるのですが、それは習慣に違いによる価値観の違いであって、真報連相の理念は、必ず世界に通ずるのだと確信しました。私たちが伝えたいのは手段ではないからです。

台湾、上海、ニューヨークから参加して下さったそれぞれの皆さんの発言は力強かったです。

こうして書いていると2日間の事がまた熱く思い出されます。今回参加できなかった皆さま、いつかどこかでお会いして2日間のお話しをしましょう。文字だけでは伝えられないモドカシサ・・・

糸藤さんをはじめ、準備から実施、後片付けまで細部にわたって関わって下さった皆さまに感謝します。本当にありがとうございました。沢山の方と知り合えて嬉しかったです。またお会いできるのを楽しみにしています。

PS. 熊本の西山さん、本当にお会いできるのを楽しみにしていたのに残念でした。どうぞお大事になさってください。

糸藤さん、「体だけ無事に帰ってきてくれたらいいわ」  
なんて愛にあふれた言葉でしょうか。

「あはは」と笑いながら「やられた」と、おでこに手を当てている糸藤さんが目に浮かびました。素敵なお夫婦ですね 私目指します。 2011.3.11 興奮冷めやらぬ桑野でした

~~~~~

(40) 山下洋史さん (投稿日3月13日)

糸藤様&田中様 ご受講された皆様 NHCの皆様

シニア塾での貴重な学びの機会をありがとうございました。

講師の糸藤さんのみならず啓発機会を頂戴した受講者の皆様にも感謝申し上げます。

理想の仕事ってなんだろうと思うことがあります。

たとえば建設業。自分の力でビルを建て、それが何十年も建ち続けるって、一つの憧れです。

残念ながら講師業は、言葉を発してもすぐに消えてしまい、受講者の受け止め方にもバラツキがあり、何とも心もとない稼業です。

しかし、シニア塾では糸藤さんの情熱あふれる全身全霊を傾けたご講義と、それを必死に吸収しようとする受講者との間に不思議な「場」が確立していました。

新興宗教の教祖様と信者のような盲信的なものではもちろんなく、アイドルと追っかけでもなく、父と子供たちでもなく。

共に真・報連相を究めたいというエネルギーが渦巻いていました。

このエネルギーと糸藤さんの思いを受講者の一人として確かに受け止めました。

他の皆様も同じ思いだと思います。

ビルは落成後には時間の経過につれて朽ちていくものですが、真・報連相はこれからも更なる洗練と、共通プラットフォームに立つ分化と、進化が期待できます。

支離滅裂でご容赦ください。とにかくすごかったと言いたいです。

上文を一部訂正します…やっぱ教祖様と信者のノリは一部あったかも？

ありがとうございました。

~~~~~

(41) 永安繁幸さん (投稿日 3月14日)

糸藤様」田中様」参加者の皆さま」

こんばんは。かなり遅くなってしまいましたが、投稿させていただきます。花粉症で絶不調の”ITの申し子”こと、永安です。

糸藤さん、老体(?)に鞭打って、ご準備等、本当に大変だったと思います。糸藤さんの、皆さんに気付きを与えるにはどうしたらいいだろうと、一所懸命に考えられて実践されておられたそのお姿に、大変感動いたしました。もう、それだけでも参加した

甲斐があったというものです。事務局の田中さんもお疲れ様でした。

また、体調を悪くされた西山さん。お目にかかれなかったのは残念ですが、お名前を忘れることはありません(^\_^;)。

それと、参加して下さった皆様。温かく迎えていただき、感謝いたします。今回、勇気を出して、手を上げて発表させていただきましたので、参加したぞ~という実感があります。

## ■感想

### 1. 常に目的を考える

糸藤さんが、どんな場面でも、「目的は？」と問われていたことが、とても印象的でした。おかげで、大分、何かに取り組んだ際、「ん？ この目的は・・・」と考えられるようになりました。何事も目的を明確にしておかなければ、意味を成さないことがありますし、ぶれてしまいます。私は、「目的」「自己」「相手」の中でも、「目的」こそが、真・報連相の真髄と捉えています。

### 2. 関心こそが人を惹きつける

これまで、戸谷さんのコメントと同じく、「いつもアンテナを張っていれば、それに気づく」と言われていましたが、糸藤さんの「関心」の方がしっくりきました。

社内で、研修を行います。如何に、関心をもたせるかがポイントです。コップが上向きにならないと、いいものを注いでも入っていかない。この上向きにするのが、大変です。如何に関心をもってもらえるか、発奮してもらうか。ここが大きな私のテーマです。

### 3. 皆さんから沢山の気づきを頂いた

”内製化”、”内内製化”という言葉聞いたとき、波多野さん、諸橋さんと同じで、”内省”を思い浮かべました。常に内省してしまう性格で。。。歐さんの、”真・報連相とは「楽しくお仕事をやる為のツール」”、延堂さんの、”真・報連相とは「人生の生き方そのもの」”というお言葉は、とても素敵だなと思いました。そうやって、自分なりの解釈をもって、真・報連相を、これからも、もっと楽しみたいと思いました。

今回、糸藤さんに「真・報連相ってDiSCやアサーションとよく合いますね」とお話した際、「真・報連相って親和性が高いんだよ」といわれて、その素性の良さといえますか、懐の深さといえますか、仕事そのものだから、親和性が高いのだなと、妙に納得しました。

沢山の方から、いろいろな気付きも頂き、皆が手を取り合えば、本当にいいものができそうです。志を同じくするもの同士、これからも、どうぞ宜しくお願いいたします。2日間、お疲れ様でした。

~~~~~

(42) 中内より子さん (投稿日3月16日) / (中富さんへの返信として)

笑顔いっぱいの中富さまへ メールをいただきありがとうございました。  
まずは、中富さまへの返礼が遅れましたことをお詫びいたします。

どうかいつもの笑顔を崩さないで・・・。  
実は、この1週間あまり、毎日の楽しい日課となっております  
メーリングリストの拝読が出来ない状態でした。  
オーバーワーク、時間管理の不徹底で恥ずかしく思います。

今朝、中富さまのメールを見つけ、すぐにお礼がしたくなりました。  
ありがとうございます。  
中富さまの一語一語がここに染み入ります。  
ほんとうに良いご縁をいただけたと感謝しております。

そして、一瞬考えてしまいました。  
いつも、こんなに暖かい言葉をかけていただける、中富さまの多くの  
部下の方達がうらやましい！！。

メーリングリストの中の中富さまは、常に元気いっぱいで笑顔が絶えず  
「今日も一日 笑顔！！」を教えられています。  
ツタヤ砺波店のスローガンも「笑顔で接客」です。  
元気の元を、これからもよろしく宜しくお願いいたします。

~~~~~  
(43) 波多野勝則さん (投稿日3月16日)

会員の皆さま お世話になります、日本報連相センターの波多野勝則です。

会員No.99の阪口さんから、

「『真・報連相研修の講師としての自己育成』に役立つ勉強方法」を  
教えていただきましたので、共有化します。

まず、添付したファイルの内、

① 「真・報連相のレベル表 説明事例まとめ表」をご覧ください。

**(※ シニア講師塾資料「真・報連相のレベル表 説明事例まとめ表(阪口さん考案)」をご確認ください)**

このフォーマットは、先般、名古屋で開催されたシニア講師塾のときに、  
阪口さんが、ご自分の事前学習のために記入して持参されていたのを  
波多野が拝見し、「これはとても良い勉強方法なので、会員の皆さんに  
ご紹介したいのですが、よろしいでしょうか？」とご相談し、  
ご承諾を得たものです。

#### 【背景事情】

「シニア講師塾」の事前課題の一つに、次のような課題がありました。

- 「レベル表の59項目」について、相手にわかるように  
説明できるかどうか、自己判定してください。

相手とは、受講者の中堅社員、管理職、中小企業の社長、大企業の人材開発責任者  
などを各自で想定してください。

項目によっては、5分間ぐらいで説明できるでしょう。

項目によっては、30分間～1時間ぐらい必要かもわかりません。

- 鉛筆で 全59項目に印をつけてください。
  - ・・・説明できる(自信あり)
  - △・・・一応説明できる(すこし不安)





3月のシニア講師塾においては、多くの気づきをいただきました。

(ここで改めて糸藤さんに心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました！)

シニア講師塾では、DVDの活用法についても示唆をいただいております  
『ピンチになった秋山君』の事例では、「Thincking Time」に入るまで、  
ぶっ通しではなく、例えば、矢島課長に報告した際に、

矢島課長 「そういわれても、これから出張で帰りも遅くなるぞ」

秋山くん 「えっ・・・」

あたりで、映像を止めて、

講師 「では、みなさんどうしたらいいでしょう？」

と、受講生に質問を投げかけてみたらどうか？

つまり、受講生に【自発的に考えてもらう】ような、講義進行をしたら  
どうでしょう？という投げかけを、糸藤さんから頂戴いたしました。

はい。昨日の新入社員研修で、さっそくやってみました！

◆ 1回目のグループワーク (3分間) ◆

秋山君が、独り言で、

秋山くん 「明日の会議までに決済をとれば間に合うだろう」

言って席を立つところで、DVDを止めて、グループワークをしてもらいました。

「どうですか？みなさん。ピンチになった秋山君というタイトルですが、  
別にピンチになっていないよね。どう思いますか？」

と、受講生に考えてもらいました。

いくつかのグループに発表してもらいましたところ

面白いことに「上司への中間報告がない」といった回答はあがらず、

「別にピンチでもなんでもない（わからない）」

とか、

「秋山くんの提案のレベルが低すぎて、上司からお直しがくると間に合わないのでは？」

といった回答が得られました。

◆ 2回目のグループワーク（5分間） ◆

続いて、糸藤さんがアドバイスくださった

秋山くん「えっ・・・」のあたりで、DVDを止めて

「どうしたらこのピンチを挽回できるでしょうか？」

と、再度受講生に考えてもらいました。

すると、いくつかのグループから手が上がり

「コピーをして、課長と部長に同時に見てもらおうと大丈夫！」

などといった、対処策的な回答があがりました。

もちろん、講師としては、少し意地悪に

部長 「矢島課長は、なんて言ってるんだい？」

と、課長の承認が部長の承認前に必要であることを告げると

全員が「う～～ん！！」と、悩んでしまいました。

そして、最後に添付するレジュメを開いて見せて

◆ 3回目のグループワーク（10分） ◆

「Thinking Time」まで、DVDで放映を行って、

「では、秋山君はどのような報連相をすれば良かったのでしょうか？」

と投げかけ、グループで考えてもらいました。

その後、DVDの解説は通しで上映せず、

秋山くんの良い事例のところのみ上映することとしました。

■■■今回の結果と感想（3つのポイント）■■■

【ひとつ目：受講生のDVDへの入り込み方が深くなった】

→何も問題のないところでDVDを止める、  
→問題が発生したところで、もう一度DVDを止める、  
という作業を通じて、受講生自らが、その場面に入り込んで  
真剣に考えることがしやすくなりました。

【ふたつ目：より深い回答が受講生側から得られた】

ここ3年ほど、DVDのこの事例を使った研修を行っていたのですが  
初めて、中間報連相以外の回答が得られました。

「中間報連相も大事だけど、秋山くんは指示を受けた段階で  
秋山課長と事前の報連相をすべきじゃなかったのか！  
『こうしようと思いますが、課長、いかがでしょうか？』といった  
スケジュールリングまで、事前に行っておくべきだった」

という回答が二つのグループから得られました。

【みつつ目：受講者が職場に戻ってからの教訓に繋がった】

日常、何でもない状況（第一のDVDストップ）が、中間報連相の無さから  
一気に顕在化（第二のDVDストップ）し、窮地に追い込まれる。

何も考えずに仕事をしていることの怖さ。常に報連相を意識し  
実践することの大切さ。について、受講生に実体験として、分かってもらえました。

以上、長文申し訳ありませんが、昨日の研修では、  
糸藤さんのアドバイスが、とっても貴重な効果を発揮しましたので、  
嬉しくなって、お礼方々メール投稿いたしました。

改めまして、糸藤さん！ 貴重なアドバイスありがとうございました。

追伸： 今月14日には、和歌山支部で、過日のシニア講師塾での  
内容の共有化を目的とした勉強会を開きます。

田舎の和歌山ですが、【真・報連相先進地域】の仲間入りができるよう  
頑張ります！

以上、みなさんへのご報告、ならびに糸藤さんへのお礼のメールをいたします。

濱田智司

~~~~~

(45) 濱田智司さん (投稿日4月16日)

糸藤さま そして みなさま

まいどお世話になっております。

和歌山支部、No.131 紀の州コンサルティングの濱田でございます。

糸藤さま 土曜日の私宛メールならびに誌上講義

また、日曜日の投稿での誌上講義 とても勉強になりました！ありがとうございます。

私だけではなく、メンバーのみなさまもきっと、  
いろいろと【関心】について、ワクワクしながら情報を待ち望んでいたものと思います。

【関心】の重要さがわかるにつれ、きっと色々と投稿もあるかと感じております。

私も、何度も糸藤さまからのメールを読み返し、自分がまだまだ理解が足りない  
ところが認識できました。また、こうすればもっと何かできるのではないか！？  
といった、発想の種まで湧き出してまいりました。

私にとりましては、

- > ・関心は、磁石のように 必要な情報を吸い寄せる
- > ・関心は、磁石のように 必要な人を呼び寄せる
- > ・関心の、強さと、持続は 創造へつながる

この【関心】について、糸藤さんがお書きになられていた項目を、初めて“強く”感じる事が出来たので、とても嬉しかったです。

和歌山支部のメンバーさんは、とても前向きな方ばかりで、今回糸藤さまがお出しになられたキーワード【関心】を最も身近に感じたものと思います。

この【関心】をもっともっと勉強して、何か新しいコンテンツをメンバーと一緒に創造できれば、これもきっと楽しいだろうなあ。などと感じております。

以上、糸藤さまのメールご返信へのお礼のメールをいたします。

【関心】についての講義、ありがとうございました！

~~~~~

(46) 田港華子さん (投稿日4月30日)

皆様 お世話になります、那覇からNHC224の田港です。

これまで、波多野代表、そして事務局長にはいつもご丁寧に対応いただき、心強かったことが何度もありました。

毎号の「ほうれん窓」もシンプルな中に、大切なことは印象深く伝わる内容で毎回楽しみでした。これまでの事務局の運営、ありがとうございました。

6月から、中富さん、延堂さんよろしく願いいたします。

微力ながら、1,000人の目標に貢献できるよう、私もデリバリースキルも高めていきたいです。

ところで、

3月の「シニア塾」で、4度、5度の自己マニュアル作成の演習がありました。

まずは1度からと、我流で作成しました。恐縮ですが、メモ書き程度のものです。

一枚を添付します。書いていたら、より理解が深まりました。

(※ シニア講師塾資料「自分マニュアル使用例 (NHC224 田港さん記入例)」をご確認ください)

梅雨入りした那覇は、今日は3回程スコールがありました。

季節の変わり目、お体おいとくださいませ。

今後とも、かわらずよろしく願いいたします。

~~~~~

(47) 中富正好さん (投稿日 4月30日)

田港様 ありがとうございます。中富です。  
3月の「シニア塾」の自己マニュアル作成の演習で使った  
シートの活用事例を公開くださり、ありがとうございます。  
大変に参考になります。

また手書きのものをそのまま添付くださいました。  
手書きというのは、実はとても情報量が多いと  
個人的には思っています。それに好きです。

といいますのは、田港さんが「伝えたいこと」が  
その字の表情から、伝わってくるような気がするからです。  
みなさんとともに、資料を共有させていただきます。 取り急ぎ、御礼まで

~~~~~

(48) 濱田智司さん (投稿日 4月30日)

田港さん そして みなさん

おはようございます。  
和歌山支部、No.131。 紀の州コンサルティングの濱田です。  
ゴールデンウィークの半ばの出勤日。みなさまはいかがお過ごしですか。

さて、昨晚、田港さんより、自己マニュアルシートの紹介がありました。  
実は、4月20日にお仕事で、沖縄に行った際、田港さんと  
空港にて少しの間ですが、情報交流をしたのです。  
その際にお見せいただいたのが、この自己マニュアルシートでした。

既に1度の項目は全て作成を終えられ、今は2度の自己マニュアル作成に  
取り組まれているとのこと。  
正直申しまして、「これはすごい！」と誇張でもなく感じました。

3月に行われたシニア講師塾で、糸藤さんは、多くの時間を割いてこの自己マニュアル作成のやり方を教えてくださいました。しかしながら、私を含め、自分なりのやり方があるメンバー様が多いので急にやろうと考えても、なかなか筆が進まないのが現状でした。

それを、謙虚にコツコツと、勉強をし直しながら書き足される田港さんの取り組み姿勢には、ただひたすら尊敬いたします。

メーリングリストをご覧のみなさまは、もしかしたら、このシートの重要性をお感じになられていらっしゃるかもしれません。

実は、このシート。

以下、3つの点でとってお役に立つのです。

#### 1. 【自らのセミナーコンテンツ（得意・不得意を含め）が見える化できる】

数多くのセミナーを行っている、特に真・報連相では、コンテンツが多数となります。その際に、どのコンテンツを、顧客のみなさまにお持ちするかに迷うときがあります。

お客様（相手）視点とセミナーの目的視点の見極めをする際にとても分かりやすくなります。

#### 2. 【5段階のレベル表の関連付けが容易になる】

以前より、中富さんがおっしゃっておられた、5段階のレベル表での各項目の関連性が、このシートで明確になります。

受講者への説明の際、必要に応じて（相手の理解度に応じて）この関連項目の説明をすることが可能となります。

糸藤さんのお書きになられた「真・報連相研修のすすめ方について私が考えていること」には、セミナー内容を固定化するのは良くない。受講者の理解度などを把握しながら、適宜、変更すべきだ。という文面を思い出します。

そして、

### 3. 【作成するうちに熱心に勉強してしまう】

これが、最も重要な点かと思います。

このシートは、書き始めると、みるみる本やら読本、ハンドブックなどを紐解いたり、他のメンバー様のコンテンツを拝見したり、そして、かつて糸藤さんや波多野さんから受講したレジュメを見直したりと勉強してしまうのです（それも自発的に）。

いかがでしょう。

残念ながら、濱田は、忙しさにかまけてしまい、田港さんのように自分マニュアルの作成は怠っておりました。

でも田港さんのこの出来を改めて拝見し、なんとか夏までに最低でも10個程度は作成してみようと思っています。

最後に、田港さん、

ご自分のコンテンツを共有化くださり、誠にありがとうございます。

糸藤さんのお気持ちや想いの種が、沖縄で芽を出し、

花咲いていることが、田港さんの友人の一人として、とても嬉しく

そして、尊敬しております。

以上、田港さんの、自己マニュアルについて、みなさまにもご連絡いたします。

追伸：

去る2月27日の糸藤さんからみなさんに宛てたメール内に

この自分マニュアル原稿があります。みなさまもお使いくださいね！

（糸藤さま、勝手に掲載することをお許しくださませ）。

濱 田 智 司 （はまださとし）